



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月12日

上場会社名 タカセ株式会社  
 コード番号 9087 URL <https://www.takase.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大宮司 典夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 笹岡 幹男

TEL 03-3571-9497

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,790	8.2	90	31.1	99	26.5	70	33.9
2019年3月期第2四半期	4,128	1.3	131		135		106	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 46百万円 ( 58.2%) 2019年3月期第2四半期 111百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	70.88	
2019年3月期第2四半期	107.17	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	10,449	6,170	59.0	6,208.38
2019年3月期	10,590	6,173	58.3	6,211.24

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 6,170百万円 2019年3月期 6,173百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		50.00	50.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	2.5	270	2.4	270	2.2	210	1.8	211.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	1,054,513 株	2019年3月期	1,054,513 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	60,602 株	2019年3月期	60,571 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	993,932 株	2019年3月期2Q	993,972 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の激化などを背景にした世界経済の減速を受けて輸出の低迷が続き、生産活動も力強さを欠く中、低い失業率、個人消費の好調継続や設備投資が下支えする国内需要の環境もあり、緩やかな回復が今後も続くことが期待されております。

このような経済情勢の中、我々の物流業界におきましては、国内貨物は、老朽化した設備の更新、オリンピック等特需の構造的要因がもたらす国内需要や、人手不足を背景とした所得回復を起因とする個人消費により好調を維持しましたが、国際貨物は、輸出の総取扱物量が低迷し、中国を中心とする取扱物量の鈍化が顕著となりました。

当社の物流ビジネスの中核である国内貨物市場は、B to C対応の物流サービスの強化要請がますます増加し、各々の消費者の要求に応える、高度な物流業務サービスの構築とその品質の維持が求められております。

こうした市場や顧客の要請に応えるため、作業員不足に起因した労務コストの上昇、ドライバー不足による運賃仕入コストの上昇が今後も続いていく中、政府が進める「働き方改革」法案を遵守する永続的な組織と、前期から黒字に転じた成長軌道をさらに確固たるものとする将来に対応する新規サービスの構築を同時に実現させる目的から、「3ヵ年中期経営計画」をあらたに策定し、グループ会社がそれぞれの事業分野や地域において品質向上や営業強化を図ることで競争力を高め、物流技術や情報システムの強化により収益力の向上と期待利益の確保を図るといった目標に沿い、さらなる業務拡大に向け注力いたしました。

当第2四半期連結累計期間において、海外連結子会社4社の業績が堅調に利益を積上げた一方で、四半期報告書提出会社における業績が、人手不足や最低賃金の上昇等で労務コストが上昇傾向にある中、メディア関連業務にかかる国内物流業務取扱の減少に見合った業務態勢の再構築に時間を要したことに加え、新規業務開始にともなう一過性の費用が発生したこともあり、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、期初計画に対して営業収益および利益面ともに下振れが見られ、不本意な状況となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益が、前年同期間と比較して、8.2%減の37億90百万円となりました。

利益面につきましては、営業利益が前年同期間と比較して、31.1%減の90百万円となり、経常利益が26.5%減の99百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は33.9%減の70百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

- A. 総合物流事業におきましては、輸入貨物取扱の増加があったものの、メディア関連業務にかかる国内物流業務取扱および輸出貨物取扱の減少により、営業収益が前年同期間と比較して8.3%減の37億43百万円となりました。また、営業総利益は、海外連結子会社4社が堅調に利益を積上げたことに加え、営業収益が減少する中、営業原価率の改善に努めたことから、前年同期間と比較して1.4%増の5億30百万円となりました。
- B. 運送事業におきましては、当事業が、総合物流事業に対する運送分野を担っております。営業収益は、既存取引の業務取扱が減少したことから、前年同期間と比較して15.9%減の1億68百万円となりました。また、営業総利益は、車両運行の効率化によるコスト削減に努めたものの、燃料費の上昇に加え、営業収益減少による影響が大きく、前年同期間と比較して44.0%減の16百万円となりました。
- C. 流通加工事業におきましては、当事業が、主に、総合物流事業に対する流通加工（倉庫内オペレーション）分野を担っております。一部顧客への派遣人員減少に加え、国内物流業務取扱の減少により、営業収益が前年同期間と比較して9.5%減の4億78百万円となりました。営業総利益は、コスト削減に向けた業務の効率化を図ったものの、営業収益減少による影響により、前年同期間と比較して21.9%減の32百万円となりました。

(注) 上記営業収益は、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①財政状態の分析

#### A. 資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億40百万円(1.3%)減少し、104億49百万円となりました。

この主な要因は、受取手形及び売掛金が1億39百万円減少したことによるものであります。

#### B. 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1億37百万円(3.1%)減少し、42億79百万円となりました。

この主な要因は、短期借入金が2億25百万円増加した一方で、支払手形及び営業未払金が87百万円、未払法人税等が54百万円減少したことのほか、長期借入金が1億44百万円、さらに退職給付に係る負債が43百万円減少したことによるものであります。

#### C. 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ、ほぼ同額の61億70百万円となりました。

この主な要因は、利益剰余金が当第2四半期連結累計期間に親会社株主に帰属する四半期純利益70百万円を計上したほか、前連結会計年度の剰余金処分による期末配当49百万円によるものであります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動によるキャッシュ・フローが1億1百万円の増加、投資活動によるキャッシュ・フローが1億42百万円の減少、財務活動によるキャッシュ・フローが15百万円の増加となり、現金及び現金同等物に係る換算差額等を調整し、当第2四半期連結会計期間末には、22億59百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は、前連結会計年度末より37百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とこれらの要因は、次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得された資金は、1億1百万円(前年同期対比3億16百万円の獲得減)となりました。

この主な要因は、税金等調整前四半期純利益が99百万円、減価償却費が1億54百万円あった一方で、仕入債務の増減額が87百万円、法人税等の支払額が59百万円あったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出された資金は、1億42百万円(前年同期対比95百万円の支出増)となりました。

この主な要因は、有形固定資産の取得による支出が78百万円、その他の支出が41百万円、投資有価証券の取得による支出が28百万円あったことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得された資金は、15百万円(前年同期は1億98百万円の支出)となりました。

この主な要因は、短期借入による収入が2億25百万円あった一方、長期借入金の返済による支出1億61百万円のほか、前連結会計年度の剰余金処分による期末配当金の支払48百万円があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、業績が概ね予想どおりに推移しているため、2019年3月期決算短信(2019年5月14日付)で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,321,021	2,283,495
受取手形及び売掛金	923,020	783,304
原材料及び貯蔵品	9,564	9,564
前払費用	16,586	38,796
未収法人税等	207	1,050
その他	182,929	179,877
貸倒引当金	△287	—
流動資産合計	3,453,041	3,296,088
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,749,025	9,817,501
減価償却累計額	△6,589,686	△6,699,698
減損損失累計額	△59,204	△59,204
建物及び構築物（純額）	3,100,133	3,058,598
機械装置及び運搬具	1,925,188	1,921,824
減価償却累計額	△1,817,148	△1,815,280
減損損失累計額	△586	△586
機械装置及び運搬具（純額）	107,453	105,957
土地	2,382,526	2,382,526
その他	472,451	494,697
減価償却累計額	△411,040	△419,367
減損損失累計額	△2,764	△2,694
その他（純額）	58,646	72,635
有形固定資産合計	5,648,760	5,619,718
無形固定資産		
借地権	458,486	458,486
その他	72,156	104,026
無形固定資産合計	530,643	562,512
投資その他の資産		
投資有価証券	607,954	620,184
繰延税金資産	46,164	28,928
その他	311,263	328,636
貸倒引当金	△7,032	△6,169
投資その他の資産合計	958,350	971,580
固定資産合計	7,137,754	7,153,811
資産合計	10,590,795	10,449,900

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	435,471	348,004
短期借入金	425,000	650,000
1年内返済予定の長期借入金	405,000	388,000
未払費用	107,096	116,272
未払法人税等	74,351	19,518
賞与引当金	55,151	59,765
役員賞与引当金	6,000	350
その他	138,766	121,357
流動負債合計	1,646,838	1,703,268
固定負債		
長期借入金	2,135,000	1,991,000
役員退職慰労引当金	70,671	64,117
退職給付に係る負債	442,534	398,861
その他	122,141	122,079
固定負債合計	2,770,346	2,576,057
負債合計	4,417,185	4,279,325
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,133,280	2,133,280
資本剰余金	2,170,568	2,170,568
利益剰余金	1,917,666	1,938,414
自己株式	△159,858	△159,918
株主資本合計	6,061,657	6,082,346
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	70,575	58,956
為替換算調整勘定	41,376	29,272
その他の包括利益累計額合計	111,952	88,228
純資産合計	6,173,609	6,170,574
負債純資産合計	10,590,795	10,449,900

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業収益	4,128,582	3,790,721
営業原価	3,547,879	3,261,039
営業総利益	580,703	529,682
販売費及び一般管理費	449,244	439,141
営業利益	131,458	90,541
営業外収益		
受取利息	1,336	1,619
受取配当金	4,315	4,710
受取賃貸料	8,581	11,430
為替差益	2,308	921
その他	7,418	11,413
営業外収益合計	23,960	30,094
営業外費用		
支払利息	18,013	19,629
支払補償費	1,589	160
その他	578	1,407
営業外費用合計	20,181	21,198
経常利益	135,237	99,437
特別利益		
固定資産売却益	4,966	539
特別利益合計	4,966	539
特別損失		
固定資産除売却損	1,146	562
保険解約損	1,630	—
特別損失合計	2,776	562
税金等調整前四半期純利益	137,427	99,415
法人税、住民税及び事業税	38,489	6,611
法人税等調整額	△7,590	22,359
法人税等合計	30,899	28,970
四半期純利益	106,527	70,445
親会社株主に帰属する四半期純利益	106,527	70,445

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	106,527	70,445
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,785	△11,619
為替換算調整勘定	△12,570	△12,103
その他の包括利益合計	5,215	△23,723
四半期包括利益	111,743	46,721
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	111,743	46,721

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	137,427	99,415
減価償却費	152,840	154,853
貸倒引当金の増減額(△は減少)	228	△1,151
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,144	4,613
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,000	△5,650
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,037	△43,673
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,500	△6,554
受取利息及び受取配当金	△5,652	△6,329
支払利息	18,013	19,629
固定資産除売却損益(△は益)	△3,820	22
売上債権の増減額(△は増加)	△1,342	139,715
たな卸資産の増減額(△は増加)	372	—
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,319	△87,467
保険解約損益(△は益)	1,630	—
未払消費税等の増減額(△は減少)	42,072	△54,901
未収消費税等の増減額(△は増加)	99,956	—
その他	△21,901	△37,050
小計	436,188	175,472
利息及び配当金の受取額	5,652	6,344
利息の支払額	△17,370	△21,223
法人税等の支払額	△6,799	△59,586
営業活動によるキャッシュ・フロー	417,671	101,006
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△23,697
定期預金の払戻による収入	—	24,015
投資有価証券の取得による支出	—	△28,972
有形固定資産の取得による支出	△45,984	△78,084
有形固定資産の売却による収入	7,186	1,989
貸付けによる支出	△1,000	△800
貸付金の回収による収入	555	5,460
その他の支出	△6,842	△41,937
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46,085	△142,027
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△40,000	225,000
長期借入金の返済による支出	△110,000	△161,000
自己株式の取得による支出	△48	△59
配当金の支払額	△48,644	△48,023
財務活動によるキャッシュ・フロー	△198,692	15,917
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,570	△12,103
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	160,323	△37,207
現金及び現金同等物の期首残高	2,224,850	2,297,005
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,385,174	2,259,798

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

①報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	4,068,348	26,217	18,344	4,112,910	15,671	4,128,582
セグメント間の内部営業収益又は振替高	14,855	173,611	510,987	699,453	47,232	746,686
計	4,083,204	199,829	529,331	4,812,364	62,904	4,875,269
セグメント利益	523,050	29,317	42,194	594,561	8,995	603,557

	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額(注) 3
営業収益		
外部顧客への営業収益	—	4,128,582
セグメント間の内部営業収益又は振替高	△746,686	—
計	△746,686	4,128,582
セグメント利益	△22,854	580,703

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備保障事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△22,854千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業総利益と調整をおこなっております。

②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

2. 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

①報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	3,746,983	20,396	7,852	3,775,232	15,488	3,790,721
セグメント間の内部営業収益又は振替高	△3,943	147,612	471,071	614,740	40,110	654,851
計	3,743,039	168,009	478,924	4,389,973	55,599	4,445,573
セグメント利益	530,503	16,405	32,954	579,863	9,256	589,120

	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額(注) 3
営業収益		
外部顧客への営業収益	—	3,790,721
セグメント間の内部営業収益又は振替高	△654,851	—
計	△654,851	3,790,721
セグメント利益	△59,438	529,682

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備保障事業等であります。  
 2. セグメント利益の調整額△59,438千円は、セグメント間取引消去であります。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業総利益と調整をおこなっております。

②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。